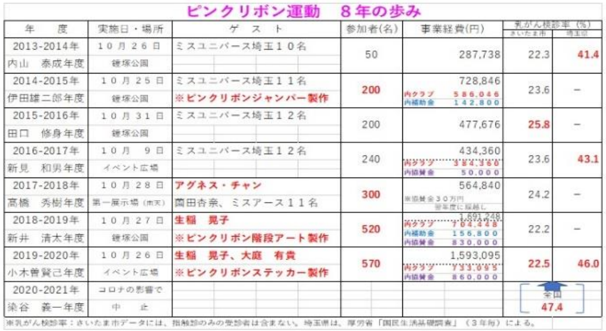
ピンクリボン運動
パスト会長 髙橋 秀樹

■ピンクリボン運動とは

1980年代アメリカで、乳がんで亡くなった患者さんのご家族が、「このような悲劇が繰り返されないように」との願いを込めて作られたリボンからスタートした乳がんの啓発運動です。

■埼玉県でのピンクリボン運動

埼玉県の乳がん検診受診率は2005（H.17）年、全国最下位（さいたま市も同様）。
埼玉県におけるピンクリボン運動への取組み
・2007（H.19）年　県内初のピンクリボン運動「ピンクリボンウォーク in 戸田市」をスタート（2017年迄）。
・2008（H.20）年「さいたま新都心 JAZZ VOCAL CONTEST」に乳がんブースを設置。
・2009（H.19）年「NACK5 ピンクリボンチャリティーオークション」に協力。
この取組等により乳がん検診率は徐々にアップ。



ピンクリボン運動　８年の歩み

年　度	実施日・場所	ゲ ス ト	参加者(名)	事業経費(円)	乳がん検診率（%）さいたま市	乳がん検診率（%）埼玉県
2013-2014年 内山　泰成年度	１０月２６日 鐘塚公園	ミスユニバース埼玉１０名	50	287,738	22.3	41.4
2014-2015年 伊田雄二郎年度	１０月２５日 鐘塚公園	ミスユニバース埼玉１１名 ※ピンクリボンジャンパー製作	200	728,846 内クラブ　５８６,０４６ 内補助金　１４２,８００	23.6	－
2015-2016年 田口　修身年度	１０月３１日 鐘塚公園	ミスユニバース埼玉１２名	200	477,676	25.8	－
2016-2017年 新見　和男年度	１０月　９日 イベント広場	ミスユニバース埼玉１２名	240	434,360 内クラブ　３８４,３６０ 内協賛金　５０,０００	23.6	43.1
2017-2018年 髙橋　秀樹年度	１０月２８日 第一展示場（雨天）	アグネス・チャン 薗田杏奈、ミスアース１１名	300	564,840 ※協賛金３０万円 翌年度に繰越し	24.2	－
2018-2019年 新井　清太年度	１０月２７日 鐘塚公園	生稲　晃子 ※ピンクリボン階段アート製作	520	1,691,248 内クラブ　７０４,４４８ 内補助金　１５６,８００ 内協賛金　８３０,０００	22.2	－
2019-2020年 小木曽賢己年度	１０月２６日 イベント広場	生稲　晃子、大庭　有貴 ※ピンクリボンステッカー製作	570	1,593,095 内クラブ　７３３,０９５ 内協賛金　８６０,０００	22.5	46.0
2020-2021年 染谷　義一年度	コロナの影響で 中　止				全国 47.4	

※乳がん検診率：さいたま市データには、指触診のみの受診者は含まない。埼玉県は、厚労省「国民生活基礎調査」（３年毎）による。

■大宮西ＲＣでピンクリボン運動を開始

県の取組みにより乳がん検診受診率は、徐々にアップしたものの、2010（H.22）年の受診率は、埼玉県は22.9%、さいたま市は16.1%と、全国最下位は変わらず。（全国平均は24.3%。厚労省の目標は50%）地元大宮で、ピンクリボンに込めたメッセージを広めたい。

乳がん検診を勧める啓発行動を行うことで、家庭や仕事に多忙な女性が自身の乳房の健康に関心を向けていただく、又男性にも関心を持っていただくことで、乳がんに罹患した患者さんとそのご家族の辛い思いを少しでも減らしたい。この思いで、2013（H.25）年よりクラブの新たな地域貢献事業として、ピンクリボン運動を開始しました。

ピンクリボン運動８年間の取組の結果、乳がん検診受診率は、

	さいたま市	埼玉県	全国
2010（H.22）年	16.1%	22.9%	24.3%
2019（R.1）年	22.5%	46.0%	47.4%

全国・埼玉県は倍増。一方、さいたま市の伸びは今一つ。

クラブの地域貢献事業としてのピンクリボン運動を
①10年目となる60周年まで従来通り継続実施
②委員会から脱退し協賛（資金提供）の形で支援
③一定の成果が得られたものとして、事業を終了について検討する必要あり。

2013-14年　内山年度

2014-15年
伊田年度

2016-17年
新見年度

2015-16年
田口年度

Pink Ribbon

2017-18年　髙橋年度

2018-19年　新井年度

2020-21年　染谷年度

2019-20年　小木曽年度